



自転車ラリー大会特設コースで運転技術の向上
(7月28日 文化会館前 市民広場)

主な内容

- 子ども医療費の助成を通院も入院も…25
中学校卒業までになります。
- 新規高卒求人説明会を初めて開催…6
- 蓮池 薫 人権講演会…7
- 国際交流協会総会・国際交流の集い…89
- 第55回 加茂市総体総合開会式…1011
- 加茂の風土記「鬼倉遺跡の土木工事跡」12

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう

市政報告

加茂市長 小池清彦

子ども医療費の助成の 大幅拡大について

加茂市は、「入院」については、
中学三年生まで全額無料であり、
唯一の県下一のまちであります。
一方、「通院」については、一
般の子どもは、小学校入学前ま
で原則無料でした。しかし、い

つの間にか他の市町村の中で、
加茂市を追い抜くものが出て来
ましたので、このたび九月一日
から一気に通院の水準を上げて、
中学校卒業までを原則無料とし、
入院、通院を併せて県下一のま
ちになります。

一 入院の場合

(一) 新潟県の場合

子ども医療費について、入院の場合、県の制度では、小学校卒業までが原則無料で、九月から三人以上子どもものいる世帯は子ども全員が中学校卒業まで原則無料となります。この場合、助成の経費は、県と加茂市が半分ずつ負担します。また、「原則無料」とは、医療費一日千二百円と食費（一日七百八十円）は、本人が負担し、残りの医療費を無料にするという意味です。

(二) 加茂市の場合

これに対して、加茂市では中学校卒業まで、入院は完全無料としておりまして、唯一の県内トップの水準にあります。これは、全くお金を出さなくてよいもので、一日千二百円も出さなくてよく、食費（一日七百八十円）も出す必要はありません。ただし、差額ベツドの場合の増加分だけは、公平の見地から本人に御負担いただくこととなります。さらに、子どもの数に関係なく全員が完全無料になっています。また、県の制度を上回るために必要な経費は、すべて加茂市が負担しております。

二 通院の場合

(一) 新潟県の場合

次に通院の場合、県の制度では、三歳未満の子どもが原則無料で、三人以上の世帯が全員小学校卒業まで原則無料でした。これが九月から、子ども三人以上の世帯のみが全員中学校卒業まで全員原則無料になります。ここで、原則無料とは、通院一回五百三十円を月四回まで本人が負担し、残りの医療費を無料にする制度で、助成の経費は県と加茂市が半分ずつ負担する制度です。しかし、一般の子どもは三歳未満までが原則無料というのは、あまりにも低すぎるといふ問題があります。

(二) 加茂市の場合

これに対して、加茂市では、通院の場合、子ども三人以上の世帯は、県と同一とし、一般の子どもは、就学前即ち六歳未満まで医療費原則無料とし、これで県内一の水準であったのでありません。

ところが六月市議会で「今や『通院』で加茂市を追い抜いている市町村がたぐさん出ている。」との御指摘がありました。

調べてみましたところ、「入院」については、加茂市が唯一の県内トップであることに変わりはありませんが、「通院」については、一般の子どもについて、長岡市、三条市、見附市は、就学

前まで原則無料で加茂市と同じであり、新潟市と柏崎市は小学校三年生まで原則無料で、加茂市とそれほど差のないことがわかりました。しかし、いつの間にか、新発田市、阿賀野市、胎内市、五泉市、十日町市、妙高市、上越市、佐渡市、関川村、粟島浦村、聖籠町、阿賀町、弥彦村、出雲崎町、湯沢町、津南町、刈羽村が中学校卒業まで通院原則無料になっていることがわかりました。また、村上市、燕市、小千谷市、魚沼市、南魚沼市、糸魚川市、田上町が小学校卒業まで通院原則無料になっていることもわかりました。

小さいまちほど地方交付税がたくさん来るので財政が豊かであることが如

実に示されていることがよくわかります。

それはともかくとして、いつの間にか加茂市が追い抜かれている実情に私は驚きました。そこで早速加茂市も九月から一気に中学校卒業まで通院原則無料とすることとし、七月二十日に市議会の御議決をいただきました。

これで、加茂市は再び通院、入院併せて、県内のトップになりました。御指摘と御議決に対し、加茂市議会に心から感謝申し上げます。

加茂地区新規高卒求人説明会が

初めて開催されました

来年春の就職につながる高校生を対象とした企業による求人説明会が、七月十八日、産業センターで開催されました。これまでは、県央地区として広い地域での説明会でしたが、これに加えて、加茂市内と周辺の企業中心の説明会は初めての開催です。



これは、市議会で意見が出され、市長からハローワーク三条の所長にお願いしたところ、快く承諾していただいて実現したものです。

会場には二十三社が参加し、市内外の高校生約百三十人余りが各社の仕事の内容や資格の取得方法、福利厚生内容を聞き、就職先を決める大切な機会となりました。

始めに、ハローワーク三条の平田所長から、「積極的に企業ブースをまわり説明を受け、不明な点はどんどん質問してほしい」との御挨拶をいただきました。

小池加茂市長は、「本来ならば、皆さんのところに各企業がお伺いして『どうかうちの会社に来てください』とお願いするのが理想の形なのに、こういう説明会を開いて、ここにこんなに大勢の方々がおいでになる姿を見ると涙が出てきます。こんな就職難の時代が続いているのは、歴代の政府が緊縮財政政策をとり続けているためであります。私は事あるごとに、『日銀引受けの国債発行を行って、拡大財政政策をとるべきだ』と主張しているのですが、まだ実現しておりません。政府を説得できず、市長として誠に申し訳ありません。



ん。こういう状況の中で皆様たいへんですが、頑張ってください。」と挨拶しました。

説明会の参加企業はサービス業や製造業、職種も事務職から機械オペレーターなど多種にわたり、参加された高校生の皆さんも多くの企業ブースをまわり、自分に合った職業が何か真剣なまなざしで説明を受けていました。

夢と絆を求めて～翻弄された運命の中で～



蓮池薫人権講演会 7月16日文化会館

文化会館大ホールは満席

七月十六日（月・祝）、新潟産業大学専任講師の蓮池薫さんを迎えて「夢と絆を求めて～翻弄された運命の中で～」をテーマに人権講演会が開催されました。

蓮池さんからは、拉致され

た当時の状況や、二十四年間北朝鮮国内で自由のない生活がどういふものが話されました。蓮池薫さん本人が確かめられているとき、知らず知らずのうちに、自宅周辺の地図やようすや同級生を思い出し、そして、夢にも見たとのことです。

一人の自由を奪うことが、どれだけ多くの人を不安にさせ、元どおりにはできないこと、そしてより多くの人の助けが必要であると講演をいただきました。

当日、会場の文化会館大ホール（千八十五席）は満席となり、拉致被害への関心の高さを多くの皆さんから感じることができました。



満席の加茂文化会館ホール

今年はコムソモリスクへ中学生代表団を派遣



国際交流協会総会・国際交流の集い

七月十九日、産業センターで加茂市国際交流協会（会長 小池清彦加茂市長）総会が開催されました。総会では、今年度行われる事業の中で、ロシア・コムソモリスク市への中学生代表団派遣事業についての説明がありました。ロシア渡航については、新潟・ハバロフスク便が運休中のため、今回初めて成田発着便を利用することになります。また、派遣にかかる費用については、コムソモリスク市との取り決めで、ロシア国内での費用はコムソモリスク市が、それ以外の日本国内等での費用は加茂市が負担します。このほか、秋に



開催する恒例行事「世界の料理パーティー」や新潟経営大学留学生などが参加する「ふるさと見学」などの実施について会員の皆様から御承認をいただきました。

総会后、産業センターホールで「国際交流の集い」を開催し、市内・近郊在住の外国人四十名を含む百二十名あまりの方々が参加されました。

会場では、話がはずみ、楽しいパーティーになりました。





コムソモリスク市派遣中学生代表団 結団式（七月二十日）

七月三十日から八月六日の八日間、ロシア・コムソモリスク市を訪問する中学生十二名と引率者が市役所に集まり、市長、副市長、教育長、各中学校長、保護者出席の下、結団式が行われました。生徒からは「コムソモリスクで体験したことを学校のみんなや友達ちに伝えたい」「事前研修で習ったロシア語で話してみたい」などと抱負を話してもらいました。

今回の訪問団の日程は、学校や航空機製造工場、博物館の訪問、



ロシア料理教室の体験等を行い、キャンプ地でコムソモリスクの子どもたちと一緒に過ごす催しに参加する予定です。
帰国後、訪問中のできごとや体験を広報かもで紹介します。

コムソモリスク・ナ・アムーレ市派遣中学生代表団員（敬称略）

- | | |
|------------------|----------------|
| 青柳 良隆（団長：七谷中学校長） | 海津 雪乃（若宮中2年） |
| 竹内 沙知（若宮中学校教諭） | 船久保陽子（若宮中2年） |
| 石平 七海（加茂中2年） | 高橋 晨（須田中2年） |
| 久保 綾香（加茂中2年） | 成瀬 龍司（燕中等3年） |
| 横山 太星（加茂中2年） | 高橋 侑里（新潟明訓中3年） |
| 坂内佑太郎（葵中3年） | 小柳 貴之（市総務課主査） |
| 吉川 美優（葵中2年） | マリーナ・レベデワ（通訳） |
| 阿部 裕太（七谷中3年） | |
| 古川 空美（若宮中3年） | |

第55回 加茂市総合体育大会 総合開会式

19競技20種目がスタート



入場行進

七月十三日、文化会館で加茂市総合体育大会・総合開会式が行われました。十九競技の出場する各競技団体が、加茂高校吹奏楽部の演奏で入場し、まず、加茂市体育協会から体育功労者と県大会以上で上位入賞された優秀競技者を表彰しました。

総体は、七月二十八日の登山（福島県会津駒ヶ岳）から始まって、三月のサッカー・フットサルの部まで、市内各会場で行われます。表彰された皆さんは次のとおりです。（敬称略）

【体育功労者章】

- ▼山崎孝満（加茂スキークラブにおいて、選手育成、各競技会とクラブ運営に尽力）
- ▼五十嵐一大（加茂山岳会において、登山の安全普及活動、大会運営に尽力）

【優秀競技者章（団体）】

- ▼つかさクラブ（第24回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会新潟県大会2位・北信越大会出場）
- ▼加茂空手スポーツ少年団（第31回新潟県スポーツ少年団総合体育大会 第35回空手道大会小学生女子団体組手3位）
- ▼新潟経営大学体操競技部（第62回西日本体操競

技選手権大会団体8位、第66回全日本学生体操競技選手権大会出場）

- ▼新潟経営大学サッカー部（第60回全日本大学選手権サッカー大会出場）
- ▼陣ヶ峰GG（第24回新潟県スポーツフェスティバル・グラウンドゴルフ大会団体戦優勝）
- ▼加茂ゆきつばき（太極拳、第24回全国健康福祉祭くまもと大会・2011ねんりんピック熊本大会出場）

【優秀競技者章（個人）】

- 柔道▼新井恒稀（BSN新潟県少年柔道選手権大会50kg超級3位）
- ▼有本みのり（新潟県スポーツ少年団総合体育大会柔道大会女子の



体育功労者・優秀競技者の表彰

部40kg以下級1位）

- 軟式野球▼吉沢春菜（軟式野球 第16回学童女子選抜大会優勝、最優秀選手賞受賞）
- ソフトテニス▼前山愛（県小学生ソフトテニス大会兼全日本予選会2位、全日本小学生選手権大会出場）
- ▼福島要（県小学生ソフトテニス大会兼全日本予選会2位、全日本小学生選手権大会出場）
- 陸上競技▼眞柄幸季（第65回新潟県高等学校総合体育大会陸上競技大会八百m3位、北信越高校総体出場）
- 空手道▼石附雪菜（第31回新潟県スポーツ少年団総合体育大会 第35回空手道大会

少年団総合体育大会柔道大会女子の



ジュニア選手の抱負



スキー・中野智弥さんの選手宣誓

中学生女子個人組手2位) ▼船久保遥(第31回新潟県スポーツ少年団総合体育大会 第35回空手道大会中学生女子個人組手優勝、第20回全国中学生空手道選手権大会新潟県予選会中学生女子個人組手ベスト2) ▼伊丹陸(第6回北信越小・中学生空手道選手権大会小学生2年男子形優勝、第28回新潟県少年少女空手道選手権大会小学生3年男子形優勝) ■水泳競技 ▼浅野恵未(第66回国民体育大会水泳競技少年少女B百m平泳ぎ4位入賞、平成23年度全国高校総体水泳競技女子二百m平泳ぎ6位入賞、

平成23年度日本選手権ジャパンオープン出場・平成24年度インターハイ出場) ▼難波若那(第66回国民体育大会水泳競技出場、平成23年度全国中学校水泳競技大会出場、平成23年度JOC全国ジュニアオリンピック夏季・春季大会出場・平成24年度インターハイ出場) ▼野村春乃(平成23年度北信越中学校水泳競技大会出場) ▼田口由亜(平成23年度北信越中学校水泳競技大会出場) ▼中林祥子(平成23年度JOC全国ジュニアオリンピック夏季大会出場) ▼土橋聖(平成23年度NST新潟県小学生選手権女子50m平泳ぎ1位) ■体操競技 ▼伊藤駿(北信越ジュニア代表、全国小学生体操競技大会出場) ▼佐野優稀(北信越ジュニア代表、全国小学生体操競技大会出場) ▼保倉秀翔(新潟県ジュニア体操競技選手権小学生Bクラス個人総合1位、北信越ジュニア代表) ▼長澤響(新潟県ジュニア体操競技選手権小学生Bクラスつり輪2位) ▼北澤寛太(新潟県ジュニア体操競技選手権小学生Bクラスつり輪3位) ▼佐藤脩平(新潟県ジュニア体操競技選手権中学生男子個人総合3位、北信越ジュニア代表)

▼北見将一(新潟県ジュニア体操競技選手権中学生男子ゆか1位) ▼伊藤祐策(第65回新潟県高等学校総合体育大会体操競技個人総合1位・平成24年度インターハイ出場) ▼佐藤祐羽(第65回新潟県高等学校総合体育大会体操競技個人総合4位・平成24年度インターハイ出場) ▼捧莉穂(新潟県ジュニア体操競技選手権中学生女子跳馬3位、平成23年度県中学生大会個人総合2位、北信越大会出場) ▼茂野天泉(新潟県ジュニア体操競技選手権北信越ジュニア代表、平成23年度全国小学生大会銅賞) ▼茂野月音(平成23年度全国小学生大会銅賞) ■太極拳 ▼新井麻子(第17回にいがたねりんピック女子70歳以上の部優勝) ▼金谷稔(第17回にいがたねりんピック男子70歳以上の部優勝) ▼栢森茂昌(第21回新潟県武術太極拳大会男子60歳以上の部優勝) ■登山競技 ▼高橋将汰(第65回新潟県高等学校総合体育大会登山競技最優秀校(新潟県中央工業高校山岳部)、平成24年度インターハイ出場) ▼波塚崇宏(第65回新潟県高等学校総合体育大会登山競技最優秀校(新潟県中央工業高校山岳部)、平成24年度インターハイ出場) ▼難波翔汰(第65回新潟県高等学校総合体育大会登山競技最優秀校(新潟県中央工業高校山岳部))

第55回総合体育大会日程

- 登山 7月28~29日
- 硬式テニス 7月29日、9月9日
- 野球 8月5、12、19日
- 水泳 8月5日
- バレーボール 8月26日、9月9日、11月10日
- 空手道 9月16日
- ソフトテニス 9月16日
- バドミントン 9月16日
- サッカー 9月17、23日、10月7日、3月20、24日
- 柔道 9月22日
- 剣道 10月7日
- グラウンドゴルフ 10月8日
- ゲートボール 10月14日
- 卓球 10月14日
- 太極拳 10月28日
- 駅伝 11月3日
- バスケットボール 11月25日
- 体操競技 12月8、9日
- スキー 2月3日

鬼倉遺跡の土木工事跡

鬼倉遺跡は、九世紀前半頃に有力者層主導の下に沖積地（ちゅうせきち）を開発した集落跡と考えられる。その一端を示すものが、河川跡内部に設けられた堰状遺構（せきじょういこう）である。

堰状遺構は、約七×六mの範囲に木組みで造られた施設である。水流の方向に対し、やや斜めに延長四〜六mにわたり、木を横に敷き、そこに添わせるように丸木杭を打ち込んでいる。横木は三列確認され一列目に十四本、二列目に三十五本の丸木杭が、二十〜三十八度の角度で打設されている。丸木杭の長さは一列目が四十cm前後

であるのに対し、二列目は長さが百十cmと長いものが用いられている。下端部は尖るよう加工される。横木の二列目と三列目の間には合掌（がっしょう）型を意図した杭が数

本見られ、三列目から河川の岸边にかけての範囲には長さ一〜二mの横木が井桁状（いげたじょう）に組まれる。これらの部材の樹種は強度があるクリ、オニグルミなどが用いられていた。



鬼倉遺跡の堰状遺構 九世紀のこの場所に河川があったことと、治水と利水の痕跡をみる事ができる。

このような構造は、河川の水流を調整する役割や護岸を意図したもので、農業灌漑（かんがい）にも利用されたと思われる。おそらく集落全体の共同作業で土木工事を行い、管理していたのである。類似した遺構は、全国で確認され、主に弥生〜古墳時代に多く見られる。

石川県津幡町（つばたまち）加茂遺跡から発見された古代のお触れ書き「加賀郡勝示札（ほうじさつ）」の第三条に溝と堰の運営管理をしない百姓を禁じ処罰する命令が下されている。この勝示札の年代は鬼倉遺跡と近いこと、加賀郡のみならず、全国共通であった可能性も指摘されていることから、蒲原郡内にも同様のお触れ書きが存在した可能性がある。とすれば、鬼倉遺跡の堰状遺構もしっかりと管理される対象となっていたことが推測される。

鬼倉遺跡の河川内部にはこの他にも杭群や柱列が確認され、何らかの施設が設置されていた可能性があり、様々な治水・利水の土木工事が集落あげて行われていたことが考えられる。

（伊藤秀和）

おひげとっ

社会福祉費寄付金

▼故・阿部ミツさんのご遺族から
五万円

コムソモリスク市へ

▼加茂手まりの会から 手まり二十三個

いただいた手まりは、中学生代表団の皆さんからコムソモリスク市の訪問先へ記念品として贈られました。

人口のうごき

7月1日現在
世帯 10,227 (+7)
人口 30,109 (-16)
男 14,534 (-12)
女 15,575 (-4)
()内は前月比
(6月異動分)
出生 16 (男9女7)
死亡 31 (男15女16)
転出 33 転入 32